

貝塚中学校校門に設置された標語立看板



第14号

平成10年3月31日

貝塚中学校区
青少年育成委員会貝塚中学校区
青少年育成委員会会長
田中 信夫

明るく、健全に、思いやりと助け合いの心、みんなのために尽くす心など、「心の教育」を推進するための一貫として、児童・生徒から標語を募集し、その標語を立て看板にし、学区の各所に設置する

という大事業。

7月7日に最初の会議を開き、青少年育成委員会、各自治会の皆様、各小学校PTAの皆様、教育委員会等の多くの方々の御協力により83台の看板を設置することが出来ました。

町を歩いていると、学区のあらゆる箇所で子供達の考えた標語が目に飛び込んでいます。この看板を見ることで青少年に喚起を促す

とともに、地域住民の方々にもご支援・ご援助をいただき、地域ぐるみで青少年の健全育成を推進していきたいと思います。

標語・立看板設置で健全育成を



標語審査会風景

児童生徒の「健全育成」のための標語審査結果

入選作品（20作品）

命はね ゲームじやないから 一つだけ

桜木小 六年 浦田 律乃

「イヤ」と言える強い意志 「ダメ」と言える正義感

桜木小 六年 岩井 貴幸

ごめんなさい その一言で 仲なおり

桜木小 六年 重田 充範

作ろうよ 笑いであふれる わが町を

桜木小 五年 田島 明香

元気なあいさつ 笑顔もいっぱい ほくらの町です

桜木小 五年 田中 啓嗣

笑い顔 みんなの心を つなぐかぎ

北貝塚小 六年 松本光二朗

切れかけた 心の電球 つけかえよう

北貝塚小 六年 岸良 恵里

けんかした 友にゴメンと 電話する

北貝塚小 六年 南村 彩佳

ともそよ 一人ひとりの 勇気の炎

北貝塚小 五年 神谷 理絵

ごめんなさい その一言で みな仲間

北貝塚中 三年 沢壽 優里

あたたかい 生命のぬくもり 忘れずに

貝塚中 三年 伊藤 茜

非行の手 ふりきる気持を 持つ勇気

貝塚中 三年 海老沢瑞希

ゆずり合う 心の余裕と思いやり

貝塚中 三年 安藤 祥江

ぜつたいに なつてはいけない 傍観者

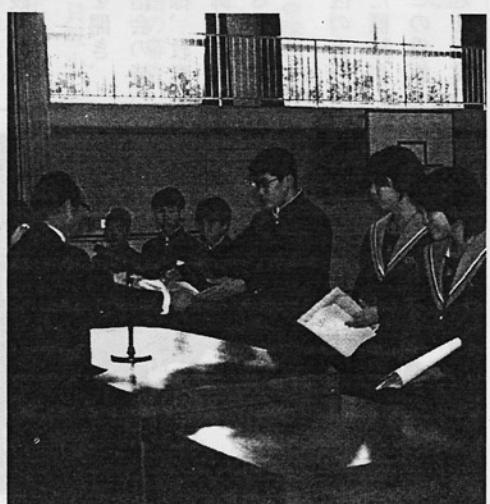
貝塚中 二年 佐々木大介

「がんばって」 その一言が 思いやり

貝塚中 二年 長谷川美保

笑い声 たやさぬ家庭に 非行なし

貝塚中 一年 斎藤 剛照



優秀作品表彰式(貝塚中学校)

佳作
(50作品)

桜木小学校

六年

五年

北貝塚小学校
六年

五年

黒河	藤江	鈴木	下田	倉石	橋元	青柳	嶋崎	大森	佐藤	木原	池原	木林	鈴木	金子	酒井	伊藤	村松	三浦	久保	飯塚	松尾
奈津子	野舞也	佑太郎	佑也	哲也	麻衣	美穂	綾子	佑美子	孝優	温子	温子	理沙	亮太	愛希	和真	彦誠	和美	和希	和隼	太郎義	輔朋
																				大輔	

貝塚中学校
三年

二年

一年

倉本	首藤	清水	豊田	今関	松村	深山	千葉	萩原	大久保	藤崎	田中	中山	浅沼	小幡	高橋	青植	高橋	麻生	白石	佐藤
由美子	綾子	太郎	真由香	広二	有華	あゆみ	佐与子	佐敦子	誠	明日香	輝明	紀江	眞規子	菜摘	まりえ	素良	陽子	実沙	大雅	鶴岡
																			土肥	小山

紗弥子

桜木小学校PTA

各校PTA・育成委員会
作成標語

貝塚中学校PTA

言う前に

相手の気持ち 考えて

やつていいこと悪いこと
あなたはきっとわかつてる

助け合い

感謝する気持ちを忘れずに

友情・愛情・思いやり
明るい未来が君を待つ

北貝塚小学校PTA

親が悲しみ 友も悲しむ

非行の道

青少年育成委員会

家庭の

笑顔が育てる明るい子

あいさつで

明るい町に非行なし

かけがえのない君たち

未来を大切に



設置を待つ立看板

地域とともに育つ 子ども達



千葉市教育委員会
青少年課課長
岩内 正道

貝塚中学校区青少年育成委員会が中心となり、地区町内自治会連絡協議会ならびに小中学校・PTAの皆様方が地域の青少年の健全育成を根がい、主体的に標語の募集・審査・立看板の設置等に取り組んでおられますこと誠に有り難く、改めまして敬意と感謝の意を表する次第でござります。

過日、私も標語の審査に参加させていただきましたが、各小中学校から多数の応募があり、日頃の地域ぐるみでの健全育成が充実していることも相まってか、すばらしい標語が多く、審査に苦労致しました。このことは、子ども達の心に人としてどのように生きていくかという態度が芽生え、育つてきているものであり、この試みがよい結果を生むことを確信しております。

可能の大きい児童生徒が、これも機会に、さらに自己を磨き、より高い次元の人間関係を構築するよう努めていきたいと思います。

理想を高く掲げ持ち、
いざや築かん 我が母校

思いやりと
助け合いの心を
より構築するために



千葉市立
貝塚中学校校長
本保 弘文

育成委員会が中心となり、児童生徒の「健全育成」のために標語を募集し、それを立看板にして町内に立てていただくことになり、大変心強く感じております。

こうした「明るく健全に」、「思いやりと助け合いの心を」、「非行に走らない」等の一連の事業は、児童生徒へ喚起を促すとともに、地域住民の方々からのご支援・ご協力は、「心の教育」が叫ばれている昨今、学校としても大変有り難く、感謝申し上げます。

入選作品を選ぶ時も、甲乙つけ難い作品を前に審査員全員真剣に悩みました。

今回子ども達が作った千点近い作品のうち看板になるのはほんの一部ですが、一人一人が懸命に考えた時の気持を忘れずに、まつすぐに育つてほしいと思います。

信じあう気持ちを 忘れずに



千葉市立貝塚中学校
PTA会長
工藤 顕介

先日、貝塚中学校にて標語の審査会が開かれました。

貝塚中からは全学年、北貝塚小、

桜木小からは5年生と6年生それぞれ全員の標語作品が集められました。さすがにコピーライターのコピーに取り込まれて生活している今の子ども達です。最終選考に残った作品は言葉の使い方、選び方にセンスがあります。定型ばかりでなく破格の標語も、よく効果を考えて作られていると感じました。

青少年による凶悪事件が取りざたされる昨今、学区を通る全ての方々に見ていただける看板の設置の意義は大きいと思います。

本年は、各部会からの報告はいたしませんが、8部会すべてが健全な環境づくりをめざして活動したこと記し、編集後記といたします。

卒業式の練習の声

梅ふくらみて

(広報部)

編集後記

本年度も、青少年をとりまく不良環境の排除と、健全な環境づくりをめざして、育成委員会の活動が続けられました。

大きな通りはもちろん、角をまれば「また、ここにも。」といった具合に、たくさんの、児童の呼びや、生徒の呼びかけの標語看板が設置されました。

